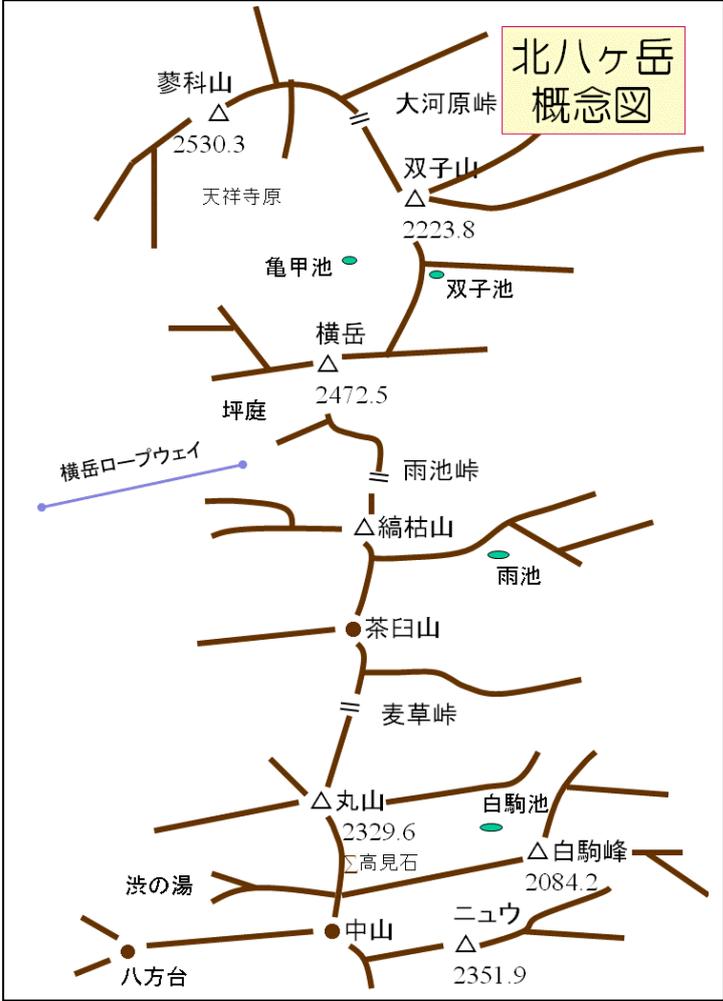


踏み跡 <My Mountains>

八ヶ岳	北横岳から大河原峠へ	No.167
-----	------------	--------

昨年12月の池巡りの続編として、同じパートナーと新緑の北八ヶ岳を歩くことにした。

昭和46年5月22日
 新宿発7時30分急行かいじ1号に乗り、甲府で長野行きに乗り換え。
 甲府盆地を過ぎてから車窓の景色に注目。南アルプスの残雪は例年のゴールデンウィーク頃よりも多いように感じる。快晴で迫力ある車窓の景色をおかずに車内で昼食。
 茅野着11時28分。バスを待つ一時間ほどの時間を利用して食料等の買い増し。
 12時30分のピラタスロープウェイ行のバスに乗り車窓から大パノラマを楽しんでいるうちに到着、13時31分。
 前は12月で木枯らしが吹き荒れていたが、今は5月で静かそのもの。とはいえどもここはまだ初夏ではなく「春」が始まったばかりだ。
 ロープウェイで上り、坪庭を通り抜けて縞枯山荘への道をとる。12月には雪と北風の中を歩いた道は5月の爽やかさが漂っているが、山荘の前の笹原はまだ雪がたっぷり残っている。
 当初計画では縞枯山荘泊でもいいなと思ってはいたが、まだ時間が早いのでチョコレートを食べ北横岳まで進むことにした。
 樹林帯に入るとまだ一尺の積雪がある。
 北横岳ヒュッテに16時到着。夕食準備の前に小屋の上でスケッチ。夕食はピラフとポタージュスープ。
 食後は山小屋のふるまいで酒宴。小屋の人は話好きで面白い。寝る前に小屋の外に出て満天の星を眺める。
 21時就寝。今日は運動量も少ないし、おまけにふとんが重くて暑くて眠気が出てくるのにはちょっと時間がかかった。



昭和46年5月23日
 日の出を見ようという客たちが4時ごろからごそごそ騒ぎ出したが、こちらはのんびり惰眠をむさぼる。
 起床はゆっくりで5時50分。朝食は昨晚のピラフの残りを使って雑炊。
 7時45分出発。



北横岳からの南北の眺め、八ヶ岳南部の雪が多い男性的な峰々と蓼科山の丸みとが対照的で面白い。
 日照があまり強くなく風も冷たい。空の色は白夜を思わせる（白夜を見たことはないが）重苦しさ。
 大岳の腹を巻くようについた道を双子池へ。尾根が湾曲したような地形のせい、かなり雪が深い。
 双子池のほとりで昼食（パンとラーメン）。
 笹原の中を登り、広い草原のような双子山の頂上、夏ならばお花畑らしい。しかしまだ雪がとけたばかりで土の色がむき出しで、緑には程遠い。風が強く、顔に当たる空気もとても冷たい。

踏み跡 <My Mountains>



大河原峠、風、風、風・・・の中でかすかにショウジョウバカマを発見。
天祥寺原を竜源橋へ下ってみたが、バスがストライキ中で16時にならないと走り出さないとのこと。
ロープウェイ入口まで歩けばタクシーぐらいにはありつけるだろうとの期待でぶらぶら歩くことにした。
路傍の山菜を狙ったがタラの芽はもう終わっていた。
ロープウェイ入口のバス停で三人のパーティと合流し、茅野まで割り勘でタクシー。(一人300円)
おかげでアルプス8号に乗り、無事帰ることができた。
以上